

富田林小学校

# SEだより

確かなことばの力を育む  
～どの子も主体的・対話的に学び合う  
国語科の授業づくりをめざして～

令和5年7月20日

スクール・エンパワーメント

## 読んでみよう！書いてみよう！

令和5年度の1学期が終わりました。

新しい学年になって、新しい漢字を覚えた！計算ができるようになった！自分の思いを文にすることができた！みんなの前で発表できた！たくさんの学びがあったことでしょう。その分、自分の課題を見つけた人も多いかもしれません。しっかり自分を見つめられることは、素晴らしいことです。

夏休みがやってきました。長い夏休みを使って、1学期の復習をしてみましょう。そして、普段できない学習にチャレンジしてみましょう。

例えば、『**自主勉**』。自分の苦手だった問題にチャレンジしてみましょう。漢字大テストで間違えた漢字を書く、計算ドリルの計算問題にもう一度取り組む、1学期に出会った新しい言葉を辞書で調べてみる、などなど。自分のために学習しましょう。日づけや**めあて**と**ふりかえり**も忘れずに書きましょう。今日はどんな学習に取り組むのか、自分の課題をめあてに書きましょう。ふりかえりの書き方は、学校で学習している、

- ①わかったことや、できるようになったこと
- ②今まで勉強したことと、よくにていること
- ③素晴らしい考えや方法だと思ったこと
- ④友だちの考えで「いいな」「素晴らしいな」と思ったこと
- ⑤まだ、はっきりとわからないこと
- ⑥これから、もう少し調べてみたいこと

を参考に書きましょう。

自主勉は、一人でする学習です。ふりかえりの書き方の中から、特に、①②⑤⑥を意識するといいですね。

次に『**自由研究**』。1学期の国語科では、3年生は「仕事のくふう、見つけたよ」、4年生は「新聞を作ろう」、5年生は「みんなが過ごしやすい町へ」でそれぞれ調べたことを正確に報告する文章の書き方を学習しました。さらに6年生は「私たちにできること」で具体的な事実や考えをもとに、提案する文書の書き方を学習しました。この学習が、自由研究をまとめるときに役立ちます。「理科」がメインの自由研究ですが、まとめ方や書き方は国語科、グラフや表へのまとめ方は算数科など、様々な教科で学んだ力が必要です。

自由研究に取り組むことは、いくつかの学習の復習をしているのと同じです。ぜひ、長い夏休みに挑戦してみてください。自由研究のまとめ方や書き方に迷ったときは、ぜひ、国語科の教科書を参考にしてください。

そして『**読書感想文**』『**作文**』。自分の思いを言葉で表すことはとても大切なことです。語彙を豊かに、そして、豊かな表現を身につけましょう。

読書感想文を書くことが苦手、またはどう書いたらいいかわからないという子も多いと思います。だから、なかなか取り掛かろうという気持ちになれないこともわかります。昨年度から、全学年で下の「読書感想文メモ」を夏休みの宿題としています。原稿用紙に書く前のメモシートです。

|  |                        |                  |   |                        |
|--|------------------------|------------------|---|------------------------|
| <p>おわり<br/>この本を最後まで読んで考えたこと、感想、ふりかえりなど</p> | <p>中2<br/>自分のおきかえり</p> | <p>中1<br/>感想</p> | <p>はじめ<br/>この本の題名、著者の名前、なぜこの本を読もうと思ったのか</p> | <p>読んだ本の名前、本を選んだ理由</p> |
|--|------------------------|------------------|---|------------------------|

\*この本をよんで。  
・はじめは、…と読んでいたけど、読み終わると、…とかんがえるようになりました。  
・この本をよんで、…だから、読めてよかったです。思います。  
・わたしも、…のように、…をがんばりたいと思いました。

\*いちばん好きなのは…そのわけは、…(りゆうをかく)  
\*もし、わたしだったら…(をかんがえてみる)  
\*おはなしとおなじことがおこったら…  
\*じぶんやおうちの人とくらべてみる。  
・わたしのおばあちゃんは、…  
\*だれかに聞いてみる。  
・おあさんにきいてみると…  
\*じぶんでしらべてみる(やってみる)。

\*どうしてその本を選んだのか。  
・どうぶつがすきなのでよんでみました。  
・おねえちゃんにすすめられてよんでみると…  
\*どんなおはなしかを短く書く。  
・この本には、おもしろいところや、ザットがたくさん出てきて、その上でなわとびをするという、おもしろいおはなしです。

本を手にするときから、「この本を読んだ後」のことを考えて読書を始めましょう。本を読んだら、読書感想文メモに、自分が考えたことを、思いつくところからメモしていきましょう。メモをもとに文章を仕上げていく学習は、2学期になってから学校で行います。できるだけたくさんのメモを残しておきましょう。

自分の力で読書感想文を仕上げよう！という人は、別紙「夏休み作品募集」を見てチャレンジしてください。感想文だけでなく、作文の募集もたくさんあります。やってみよう!!